

定例市長記者会見録

日 時：4月22日(木) 午後1時30分～2時

場 所：本庁舎6階特別会議室

出席者：一宮市 中野市長、福井副市長

報道機関 中日新聞、読売新聞、朝日新聞、中部経済新聞、毎日新聞、共同通信

本日の案件は3つです。

1番目は「100周年記念事業を実施します！」です。今回、記念事業イベントカレンダーを作成しました。市民の皆様幅広く配布し、イベントを周知していきたいと考えています。

主な事業として、NHK公開番組「NHKのだ自慢」を9月19日に実施します。宝くじスポーツフェア「ドリーム・サッカーinいちのみや」は、11月から12月にかけての実施で調整中です。まちなかウォークは、10月以降、来年2月までの各月に1回「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を目指し、一宮駅東の銀座通りを全面歩道にする社会実験です。警察の許可を得て車の通行を制限し、自由に楽しみながら歩け、人工芝を敷き子どもたちも遊べるようにします。地域の賑わいを取り戻すきっかけにもなればと考えています。オリジナルフレーム切手の販売は、市内約30の郵便局にご協力いただき、100周年を迎える9月1日に合わせ、1セット10枚で販売します。昨日開催しました100周年実行委員会で切手のデザインについて議論し、方針を決定したところです。

次に、中学生の沖縄派遣事業です。本年度と同じく市制施行100周年を迎える那覇市に20名を派遣します。必ず訪れてほしい施設として、対馬丸記念館を考えています。戦時中に子どもたちが疎開する船が攻撃され沈没した対馬丸事件の記念館ができたのは、平成に入ってからです。昭和の時代には、ともすれば忘れ去られそうな状態になっていたそうです。昭和20年代に旧丹陽村の子ども会が中心となり行った募金活動や、当時の桑原愛知県知事が揮毫し建立された「小桜の塔」の存在により、この出来事が語り継がれてきましたと、沖縄県の関係者の方は仰ってくださいます。本市が100周年としてその歴史を振り返るとき、「平和」はとても大事なテーマですので、派遣される皆さんには、ぜひ平和・環境学習の一環として関心を深めていただきたいと思います。コロナ禍の状況ですのでオンライン交流になる可能性もありますが、交流の場をつくりたいと考えています。

一方で、2013(平成25)年から実施してきたイタリア・トレビーズ市への中学生派遣は、コロナの世界的なまん延等の状況を踏まえ、令和3年度以降は凍結とします。

次に、謎解きウォークラリーです。100周年記念事業の専門委員会による企画で、まさにテーマの「健康・元気」につながるもので、市内で5つのコースを予定しています。

2番目は「新婚さんを支援します！(マイスイートホーム事業)」です。本市の合計特殊出生率は1.4を下回り、新生児の届出数は心配な状況が続いています。そこで、今年度限定ですが、夫婦ともに39歳以下で夫婦の年間所得が400万円未満、住民票が市内にある夫婦を対象として、4月1日から12月31日までに支払う住宅購入費や敷金・礼金、引越費用

等、1世帯当たり20万円まで補助します。申請期間は6月1日から来年1月28日までです。この事業の案内チラシを、市内の結婚式場や不動産会社に置いていただき、PRしてまいります。この事業は国からの補助事業です。昨年度、県内では弥富市さんのみの実施でしたが、今年度は本市の他に大府市さん、田原市さんが実施するとのこと。

3番目は「新型コロナワクチン接種のお知らせ」です。4月16日に65歳以上の方へクーポン券を発送しました。その結果、協力医療機関へ予約の問い合わせが多くなっています。ワクチンの供給スケジュールでは、4回目の供給となる全国16,000箱のうちの本市への供給数が4月26日に決定します。4月28日から予約受付を開始しますので、今しばらくお待ちいただきたいと思います。市ではコールセンターを開設し、人員を配置していますが、協力医療機関は比較的少人数の体制ですので、問い合わせをいただいても、お答えするのが困難な状況であることをご理解いただきたいと思います。

次に、供給ワクチンの使用先ですが、全国で500箱配布されたうち、4月18日に本市へ供給された1箱(975回分)については、26日に老人保健施設アウンさんで接種することが決まりました。医療従事者以外の方では初めての接種となります。全国で1,741箱配布のうち、5月8日に本市へ供給される1箱については、中保健センターで接種の予定です。全国で4,000箱配布のうち、5月9日に本市へ供給される2箱については、西保健センター、北保健センターでそれぞれ接種の予定です。そして、全国で16,000箱配布のうちの本市への供給数につきましては、26日に通知される予定ですので、27日中に調整し、28日から予約の受付を開始します。市民の皆様に少しでも安心していただけるよう、準備を進めます。5月31日からは一宮市立市民病院で毎日200人、1週間後の6月7日から市内147の協力医療機関でも、週に12,000人の接種を予定しています。ワクチンの配送等についてはしっかりと連携し、進めてまいります。

以上、本日の説明でございます。

質疑応答の概要

■新婚さんを支援します！（マイスイートホーム事業）

（記者）この事業の目的は、人口減少を食い止めるための少子化対策ですか？

（市長）ご指摘のとおりです。30年ほど続いている国難に対して、一宮市でできる取り組みを考えました。

（記者）この事業は、初めての取り組みですか？

（市長）一宮市では、初めてです。

（記者）この事業は、一宮市独自の事業ですか？

（市長）国の地域少子化対策重点推進交付金を活用した事業で、国の基準に沿った事業です。

■保健所について

（記者）中核市となり20日程たちます。保健所を持つ自治体となり、直接コロナ感染の情報に触れられるようになりましたが、感染を防ぐための情報を出す予定はありますか？

すか？

(市長) 今、準備しているところです。第4波が来ている状況で、職員の超過勤務が増え労働環境が厳しくなっています。何とか持ちこたえてもらうためにも、職員が働きやすくなるための、例えばヘッドセットなどの機器を購入し、働く環境を整えていきます。

(記者) コロナに関する生の情報に触れられるようになり、何か変わったことはありますか？

(市長) 小中学校との連携などが強化されました。児童・生徒が検査を受けた段階で情報が入るようになりました。

■中学生自死事案に関する審理について

(記者) 今回、裁判所からの和解案が示されず、次回の期日までお互いが話し合うことになりましたが、市はどのようにお考えでしょうか？

(市長) いつまでもご遺族と争っているかのような形で向き合い続けるのは本意ではありません。できるだけ早く、一つの節目として和解を目指しています。

(記者) どういった形での和解をお考えですか？

(市長) 我々としては、最初に裁判所から示された和解案での、「全部落ちたらどうする」という特定の言葉、特定の個人や役職が理由というのは受け入れられませんでした。全体としての管理体制、子どもや保護者に向き合う姿勢については、第三者委員会からも指摘されています。我々の考えを先方にご説明して、互いに認識を擦り合わせたいと思います。